

6. 広報活動

2014年度に引き続き、施設側としてイベントを開催したり、多数の見学や取材に対応したりした。

パネル等で紹介した。施設公開全体で5,634名の来場があった。

1. イベント

施設側として広報イベントを主催するとともに、学生や一般向けの展示会やイベントに積極的に参加し、SACLAを紹介した。

1-2 SACLA一般公開 in 九州

2015年10月16日、福岡県 ヒルトン福岡シーホークにおいてSACLA一般公開 in 九州を開催し、SACLAの施設紹介や講演会を行った。

1-1 施設公開

2015年4月26日に第23回SPRING-8施設公開が開催され、実験研究棟の実験ホール、光源棟のアンジュレータギャラリーを中心に、SACLAの施設と装置を展示や

2. 報道発表

2015年度はSACLAに関する19件の報道発表を行った(表1)。また、テレビ番組や新聞、WEBコンテンツのための取材が3件あった。

表1 2015年度の報道発表一覧

発表日	タイトル	発表機関
2015年 5月13日	国際学術雑誌の自由電子レーザー特集号にSACLAに関する4本の論文が一挙掲載	理化学研究所、高輝度光科学研究センター 大阪大学
2015年 6月8日	SACLAが新しいビームラインの共用を開始 —世界初 複数のXFELビームラインが稼働する施設に—	理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2015年 6月16日	超強力X線による極微小プラズマ生成を発見 —X線自由電子レーザーを利用したイメージングに重要なメッセージ—	東北大学多元物質科学研究所 京都大学大学院理学研究科、広島大学 理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2015年 7月13日	低温X線回折イメージングによる葉緑体内部構造の非侵襲・高分解能観察に成功	慶應義塾大学
2015年 7月31日	超強力X線誘起電子分子ダイナミクスを解明! —X線自由電子レーザーを利用したイメージングに重要なメッセージ—	東北大学多元物質科学研究所 京都大学大学院理学研究科、広島大学 理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2015年 8月27日	世界最短波長の原子準位レーザーを実現 —金属銅箔から理想的なX線レーザー光が発生—	電気通信大学、理化学研究所 高輝度光科学研究センター、東京大学 大阪大学、京都大学
2015年 9月11日	SACLAのX線自由電子レーザーを用いた新規タンパク質立体構造決定に世界で初めて成功	京都大学、理化学研究所 高輝度光科学研究センター
2015年 9月23日	X線自由電子レーザーの可干渉性を可視化 —X線自由電子レーザーが光の位相が揃った理想的なレーザー光源であることを証明—	東京大学、理化学研究所 高輝度光科学研究センター
2015年 9月24日	超高速光化学反応を可視化する「分子ムービー」の原理を実証 —気体分子1つから得る光電子回折像の観測に成功—	高エネルギー加速器研究機構 理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2015年 11月10日	SACLA産学連携プログラムで、自動車排ガス浄化用触媒材料を放射線損傷なくナノレベル観察することに成功 —X線自由電子レーザーを利用した世界初の産学連携研究論文を発表—	北海道大学、トヨタ自動車株式会社 高輝度光科学研究センター、理化学研究所
2015年 11月30日	SACLAでタンパク質の硫黄原子を利用した結晶構造の決定に成功 —創薬ターゲットとなる多様なタンパク質の未知な立体構造の解析が可能に—	理化学研究所、大阪大学 高輝度光科学研究センター

発表日	タイトル	発表機関
2015年 12月1日	強レーザーパルスを用いた量子状態の超高速高効率操作に成功 ～フェムト秒2光子ラビ振動の実現～	名古屋大学、電気通信大学、富山大学 理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2015年 12月11日	酸化タングステン光触媒の光キャリア超高速構造追跡に成功	自然科学研究機構分子科学研究所 北海道大学、理化学研究所 高エネルギー加速器研究機構
2016年 1月26日	フェムト秒で起こるX線損傷過程の観測に成功 —X線1分子構造解析法の進展へ大きな一歩—	東京大学、理化学研究所 高輝度光科学研究センター
2016年 2月1日	XFELの光特性を非破壊で評価する手法を開発 —SACLAによる超高速現象研究の精度を大幅に向上—	理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2016年 2月13日	原子の瞬間移動のサブ・ナノメートルの分解能での実時間観測に成功 ～X線自由電子レーザー「SACLA」の有効性を実証～	筑波大学、産業技術総合研究所、弘前大学 理化学研究所、高輝度光科学研究センター
2016年 2月17日	SACLA マルチビームライン運転に成功 —2本のビームラインによる同時レーザー発振で利用機会を拡大—	理化学研究所
2016年 3月1日	生命現象を支える化学反応の真の姿を解明！ —地球の窒素循環を担う酵素の制御がSACLAとSPRING-8の技術で可能に—	大阪大学、理化学研究所 高輝度光科学研究センター
2016年 3月25日	SACLAでの構造解析に必要な結晶の量を数百分の1に —パルス液滴法によるタンパク質微小結晶の構造解析に成功—	理化学研究所、東京大学 高輝度光科学研究センター、学習院大学

3. 見学対応

2014年度から引き続き、政府関係、産業界、海外研究機関等における要人、また学校教育の一環としての生徒・学生の見学をはじめ、幅広い層の見学希望があり、多くの見学者を受け入れた。

理研 放射光科学研究推進室